

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	浅間技研工業株式会社					
代表者名	氏名	中島 武夫		役職名	代表取締役社長	
主たる事務所の所在地	長野県小諸市大字耳取字牛原450					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	自動車ディスクブレーキの製造					
制度に該当する要件	☒	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	☐	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	8, 218	7, 913	9, 217		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	23, 493		26, 680		
調整後排出量	t-CO ₂	23, 493	20, 637	26, 680		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	1		0		
自動車の台数	台	6		6		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	4		5		

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度～	2025	年度
報告対象年度	2023	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

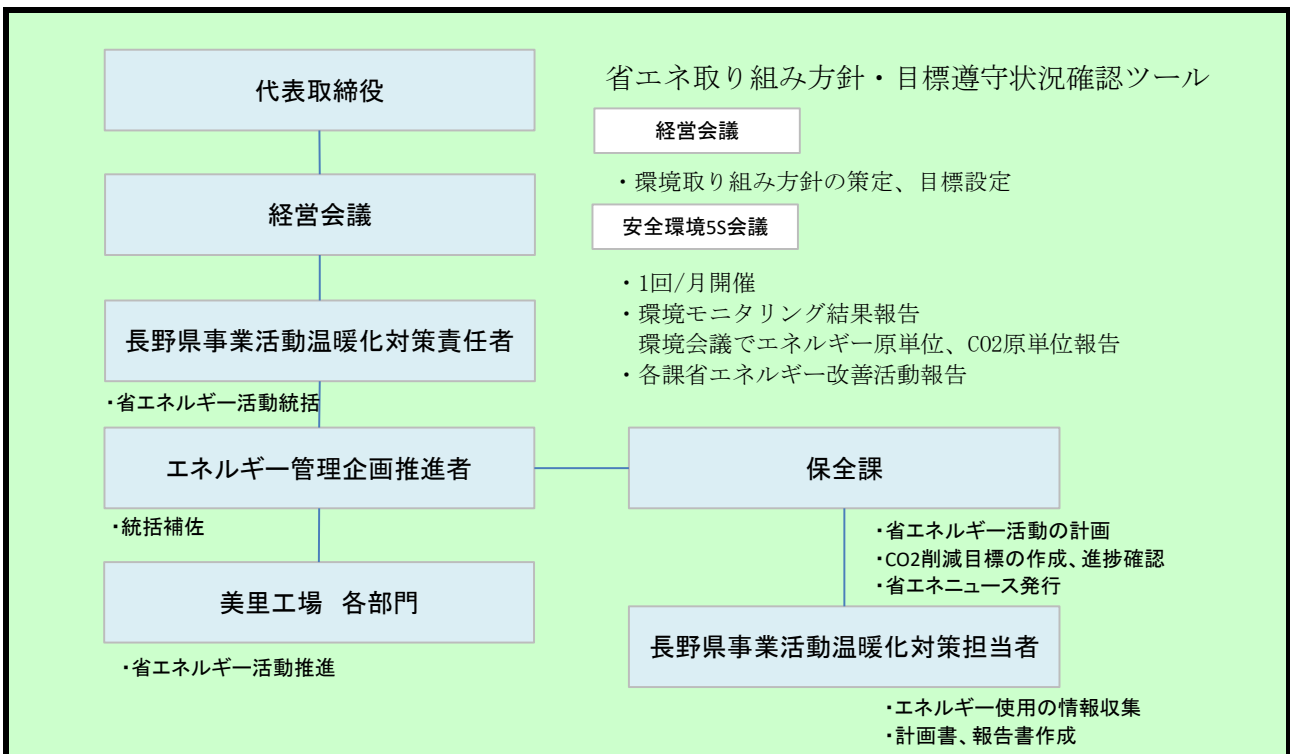
☐	ホームページ	閲覧可能な場所：浅間技研工業(株)美里工場 保全課省エネ推進係 連絡先電話番号：0267-22-8118 閲覧時間：9時～17時
☒	印刷物の閲覧	
☐	その他	

様式 1 号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

環境方針 【基本理念】 当社は地球環境の保全を重要課題とする社会の一員として、企業活動を通じ、人の健康と地球環境の保全に積極的に寄与します。その活動において先進性を維持することを目標として下記の行動指針を定め、その達成に努めます。 【行動指針】 1. 当社は自動車部品の鋳造及び加工等の生産活動の中で、環境負荷低減のために省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、資源の有効利用、リサイクル、生産活動で発生する大気系・水質系への環境影響の低減、自動車部品の軽量化に積極的に取り組みます。 2. その生産活動の中で、適用される環境関連法規及びその他の当社が同意する要求事項を遵守します。 3. 環境改善の目的・目標を明らかにし、適宜その見直しを図り、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。 4. この環境方針を文書化し、従業員一人ひとりに周知し、環境教育・広報活動の充実を図り、環境保全の意識の高揚を図ります。 5. 取引先の環境活動を支援し、また環境に関する社会活動への参画し、地域社会との共生に努めます。そして当社の環境方針は要求事項に応じて社外に公表します。						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	有	目標年度	2030、2050	年度	削減目標	温室効果ガス排出量 2030年度24.1%削減（2018年度比） 2050年度実質ゼロ
削減計画の概要	・太陽光発電を50KW設置する。 ・2025年度より毎年、前年度エネルギー使用量4%相当の非化石証書を購入する。 ・2027年度までにキュポラの非化石燃料への置換、電気炉化を検討する。					
イニシアチブ 参画状況	☐ SBT	☐ RE100	☐ 再エネ100宣言 RE Action	☐	☐ その他	

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

・省エネパトロール、省エネニュース発行（2回/年） ・安全環境5S会議、実績報告会（1回/月） ・CO2削減進捗状況を全従業員へ周知（1回/月）
--

様式 1 号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率	100.00	%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4	t-CO ₂		単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位	t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率	%	
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	5	t-CO ₂		単位	
	調整後排出量			原単位	t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率	%	
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂		単位	
	調整後排出量			原単位	t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率	%	
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂		単位	
	調整後排出量			原単位	t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率	%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式 1 号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	工業炉	キューポラコークス比改善	2023～ 2025	535.5	2023	0
2	エネ起	熱源設備	冷温水発生器冷温水設定温度の見直し	2023～ 2025	227.1	2023	45.7
3	エネ起	生産設備	鋳造方案歩留まり改善	2023～ 2025	186.9	2023	0
4	エネ起	生産設備	鋳造電力原単位改善	2023～ 2025	154.2	2023	559.9
5	エネ起	生産設備	機械課高効率チラー導入	2023	51.9	2023	21.9
6	エネ起	生産設備	稼働率改善	2023～ 2025	30.9	2023	58.6
7	エネ起	生産設備	洗浄機設定温度見直し	2023	26.6	2023	0
8	エネ起	生産設備	一貫不良率改善	2023～ 2025	21	2023	82.2
9	エネ起	工業炉	熱交燃焼室運用方法の見直し	2023	18.6	2023	0
10	エネ起	生産設備	エアー漏れ修理	2023	10.5	2023	0.9

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	50			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年	0	1,480	0		
非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	0	83	0		
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	23,493	1	26,680				
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	23,493	1	26,680				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC	1			
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	1	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	3	3		
合計	3	3	0	0
自動車総数	6	6		
次世代自動車導入割合	50	50		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張の際は公共交通機関を利用し、会社が認めたもの以外の車両の使用は禁止している
自転車の利用促進	工場内専用自転車を配備し、軽量物の運搬や移動に使用している。また、従業員用の駐輪場を設けている。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	社有車移動で目的地が同じ場合は極力相乗りを推奨している
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	該当なし
物流の合理化	他社と連携し空荷を最小限にする物流システムを構築している

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
☒	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2021
☐	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している	
☒	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 IS014001	1999
☐	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
☐	ZEB	の認証を取得している	
☒	デマンド・レスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	2021
☒	その他	廃棄物削減、地下水使用量削減	2022

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

・省エネ推進部門を新設 ・集塵機運転方法を見直しCO2排出量を削減 ・生産ラインを集約しCO2排出量を削減 ・設備毎に電力量を測定し、待機電力量を削減
--